

エコアクション21

環境経営レポート

ミヨシ精機工業株式会社

1. 組織の概要及び対象範囲	P.2
2. 実施体制	P.3
3. 環境経営方針	P.4
4. 環境経営目標	P.5
5. 環境経営計画	P.6
6. 環境経営目標の実績及び環境経営計画の取組結果、その 評価、並びに次年度の取組内容	P.7
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟等の有無	P.8
8. 代表者による全体評価と見直しの結果	P.8

運用期間：2020年4月1日 ～ 2021年3月31日

発行日：2021年5月17日

1.組織の概要

・事業所名 ミヨシ精機工業株式会社

・代表者氏名 田中 謙一郎

・所在地 東京都練馬区上石神井4-10-39
長野県上田市塩川5103-3

・環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 小松 聖

担当者 朝比奈 進

連絡先 長野丸子工場

TEL 0268-36-4600

FAX 0268-36-4601

E-mail s-asahina@miyosho.co.jp

・サイト名称及び所在地

本社 東京都練馬区上石神井4-10-39

長野丸子工場 長野県上田市塩川5103-3

・事業活動の内容

カメラ等の光学機器、複写機及びプリンター等のOA機器、自動車の
保安系部品等の精密さを要求される金属部品の加工製造。

・事業規模

売上 611,904千円

従業員 68 名

工場敷地(床面積)

本社 116.13m²

工場 2152.64m²

対象範囲(認証・登録範囲)

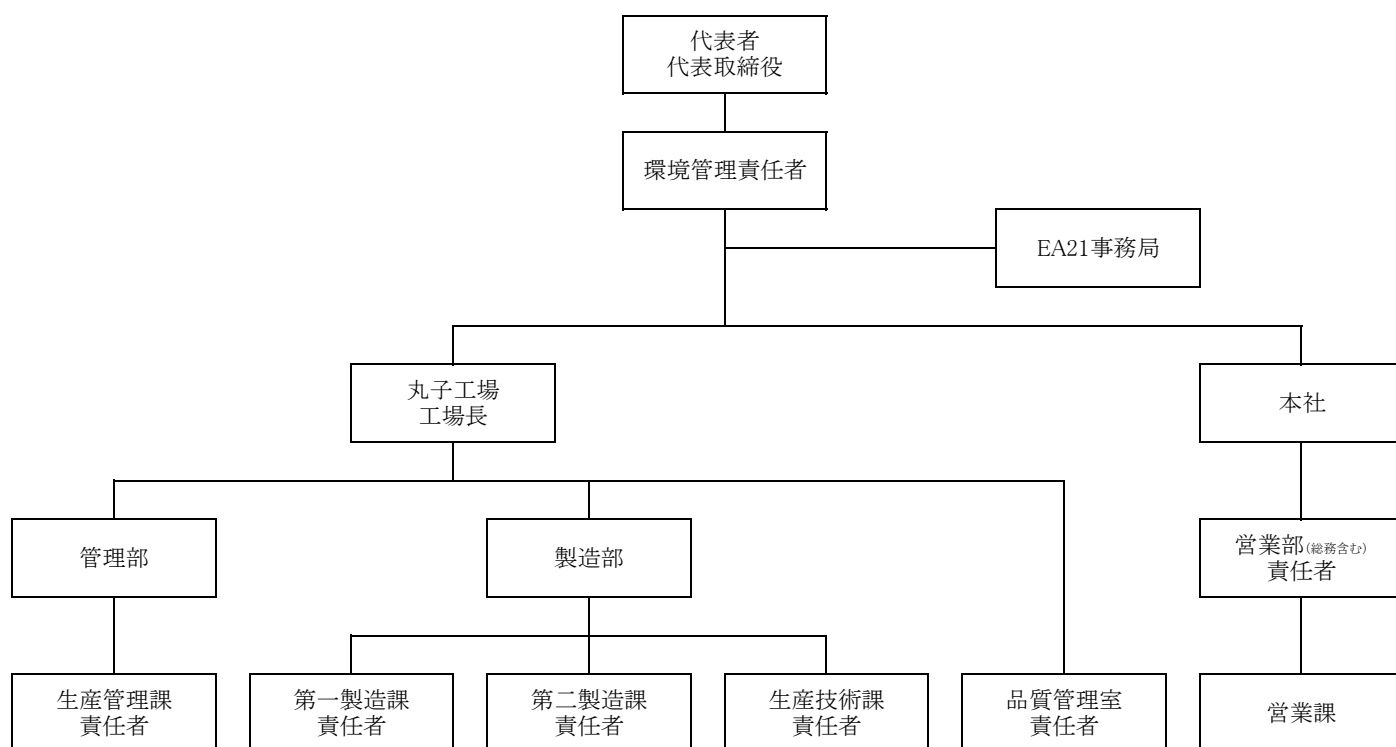
認証登録対象組織

本社、長野丸子工場

認証登録対象活動

カメラ等の光学機器、複写機及びプリンター等のOA機器、自動車の
保安系部品等の精密さを要求される金属部品の加工製造。

EA21役割責任体系図



	役割・責任・権限
代表者	1.環境管理責任者の任命 2.環境方針の策定、制定、周知 3.環境経営システムの実施及び、管理に必要な資源の準備 4.環境経営システムの定期的見直しの実施 5.社内情報の外部公開可否決定 6.環境レポートの承認 7.経営における課題とチャンスを整理し、明確にする
工場長	1.上記、代表者の補佐及び不在時の代理執行
環境管理責任者	1.環境経営システムの確立、実施、維持、継続的改善 2.社長への環境経営システムの実施状況報告 3.EA21事務局との連携 4.各部門への環境教育の計画、実施 5.関連法規の取りまとめ表の承認 6.環境関連文書及び記録の承認
EA21事務局	1.環境管理責任者の補佐 2.環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 3.環境目標、環境活動計画書原案の作成 4.環境活動の実績集計、環境関連法規等取りまとめ表の作成 5.環境関連法規等、取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 6.環境関連の外部コミュニケーションの窓口、環境活動レポートの作成
部門責任者	1.自部門従事者に対して環境方針の周知、緊急事態に対する周知 2.関連する環境活動計画の実施、達成状況の報告 3.特定された項目の手順書作成及び、運用管理 4.自部門で想定された緊急事態への対応手順書作成、訓練の実施 5.自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
部門従事者	1.環境方針を理解し、部門の環境活動計画に従って行動する

3.環境経営方針

【企業理念】

当社は、地球環境保全の重要性を認識し、精密金属部品の製造を主とする事業活動を行う中で環境への配慮と環境汚染の予防に努め、地球にやさしい「ものづくり」に真摯に取り組み地域だけでなく、日本の未来の発展に寄与する企業として行動していきます。

【行動指針】

1. 環境負荷の低減を図るため、以下の活動に取り組みます。
 - (1) 省エネ(電気、燃料)を推進し二酸化炭素の排出量を削減します。
 - (2) 廃棄物の排出量を削減します。
 - (3) 水の使用量を削減します。
 - (4) 化学物質を適正に管理します。
 - (5) グリーン購入を進めます。
 - (6) 5S活動及び品質管理とをリンクさせ、環境に配慮したものづくりを推進します。
2. EA21環境経営システムを構築・運用し環境への取り組みを継続的に行います。
3. 事業活動にあたっては環境関連法規等を遵守します。
4. 環境経営方針は全ての従業員に周知します。

2020年3月25日

ミヨシ精機工業株式会社

代表取締役 田中 謙一郎

4.環境経営目標

環境経営目標	基準(実績)		CO2換算係数	中期目標		
	2016年度			2018年度	2019年度	2020年度
	通年 2016年4月～2017年3月			2018年4月～2019年3月	2019年4月～2020年3月	2020年4月～2021年3月
1. 二酸化炭素排出量の削減	710,355 kg-CO ₂			1%削減 703,250 kg-CO ₂	2%削減 696,147 kg-CO ₂	3%削減 689,043 kg-CO ₂
1.1 電力使用量の削減	1,363,084 kWh 681,542 kg-CO ₂		0.500	1%削減 1,349,453 kWh 674,726 kg-CO ₂	2%削減 1,335,822 kWh 667,911 kg-CO ₂	3%削減 1,322,191 kWh 661,095 kg-CO ₂
1.2 ガソリン使用量の削減	2,955 L 6,861 kg-CO ₂		2.322	1%削減 2,925 L 6,792 kg-CO ₂	2%削減 2,896 L 6,724 kg-CO ₂	3%削減 2,866 L 6,655 kg-CO ₂
1.3 軽油使用量の削減	403 L 1,058 kg-CO ₂		2.624	1%削減 398 L 1,047 kg-CO ₂	2%削減 394 L 1,036 kg-CO ₂	3%削減 390 L 1,025 kg-CO ₂
1.4 プロパンガス使用量の削減	557 kg 1,672 kg-CO ₂		3.002	1%削減 551 kg 1,654 kg-CO ₂	2%削減 545 kg 1,638 kg-CO ₂	3%削減 540 kg 1,621 kg-CO ₂
1.5 灯油使用量の削減	7,714 L 19,222 kg-CO ₂		2.492	1%削減 7,636 L 19,029 kg-CO ₂	2%削減 7,559 L 18,837 kg-CO ₂	3%削減 7,482 L 18,645 kg-CO ₂
2.1 一般廃棄物排出量の削減	3,390 kg			1%削減 3,356 kg	2%削減 3,322 kg	3%削減 3,288 kg
2.2 産業廃棄物排出量の削減	68.8 t			1%削減 68.1 t	2%削減 67.4 t	3%削減 66.7 t
3. 水使用量の削減	2,136 m ³			1%削減 2,114 m ³	2%削減 2,093 m ³	3%削減 2,071 m ³
4. 化学物質の適正管理				適正管理	適正管理	適正管理
5. グリーン購入の推進(丸子工場)				エコ商品品目数 (データ収集後決定)	エコ商品品目数 (データ収集後決定)	エコ商品品目数 (データ収集後決定)
6. R社の客先クレーム件数低減	16 件			10 件以下	10 件以下	10 件以下

注(1) 購入電力のCO₂排出係数:0.500 kg-CO₂

注(2) 産廃: 廃プラ、廃油(水溶性)、廃木、アルミスケール汚泥、研掃材モランダム～マニフェスト発行

注(3) PRTR法に該当する化学物質は使用していません

5.環境経営計画・実施状況評価

基準年度(基準値):2016年4月~2017年3月 年1%削減 □:計画 ■:実績 評価:達成○ 未達×

No.	中期目標 (2020年度)	2020年度目標	施策	責任者	2020年												合計											
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間 集計	10月	11月	12月	1月	2月		3月										
1	二酸化炭素排出量の削減(kg-CO2) 基準値:2016年度(通年) 710,355 2018年度から2020年度 3%削減 689,043	基準値 710,355kg-CO2 ↓ 3%削減 689,043kg-CO2	・1.1~1.5の各項に記載	小松	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	689,043				
					計画排出量	57,420	57,420	57,420	57,420	57,420	57,420	344,522	57,420	57,420	57,420	57,420	57,420	57,420	57,420	57,420	57,420	57,420	57,420		57,420	57,420	689,043	
					実績排出量	46,854	45,236	28,185	41,755	56,546	47,431	266,007	54,626	50,142	43,781	43,682	48,596	45,463	552,298	0	0	0	0		0	0	0	552,298
1.1	電力使用量の削減(kwh) 基準値:2016年度(通年) 1,363,084 2018年度から2020年度 3%削減 1,322,191	基準値 1,363,084kwh ↓ 3%削減 1,322,191kwh	・休憩時間、不要照明の消灯 ・エアコンの適正使用 ・PCを省エネモードに設定	鈴木	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	1,322,191				
					計画使用量	109,193	88,287	128,761	126,529	135,570	108,153	696,491	110,787	112,216	108,251	88,658	109,966	95,821	1,322,191	0	0	0	0		0	0	1,322,191	
					実績使用量	90,588	89,988	55,399	82,806	112,794	94,280	525,855	105,942	97,425	80,087	78,713	92,297	86,391	1,066,710	0	0	0	0		0	0	0	1,066,710
1.2	ガソリン使用量の削減(L) 基準値:2016年度(通年) 2,955 2018年度から2020年度 3%削減 2,866	基準値 2,955L ↓ 3%削減 2,866L	・エコドライブを実践 ・定期点検の実施 ・エコ出張の推進	黒沢	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	2,866				
					計画使用量	238.8	238.8	238.8	238.8	238.8	238.8	1,433.0	238.8	238.8	238.8	238.8	238.8	238.8	238.8	238.8	238.8	238.8	238.8		238.8	238.8	2,866	
					実績使用量	76.8	36.0	120.8	21.4	31.4	99.0	385	79.0	98.8	60.0	115.0	34.5	83.5	856	0	0	0	0		0	0	0	856
1.3	軽油使用量の削減(L) 基準値:2016年度(通年) 403 2018年度から2020年度 3%削減 390	基準値 403L ↓ 3%削減 390L	・エコドライブを実践 ・定期点検の実施 ・エコ出張の推進 ・運行記録表の運用	黒沢	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	390				
					計画使用量	32.5	32.5	32.5	32.5	32.5	32.5	195.0	32.5	32.5	32.5	32.5	32.5	32.5	390	0	0	0	0		0	0	390	
					実績使用量	47.0	0.0	45.3	44.0	0.0	8.1	144	53.0	0.0	0.0	44.0	0.0	54.6	296	0	0	0	0		0	0	0	296
1.4	プロパンガス使用量の削減(kg) 基準値:2016年度(通年) 557 2018年度から2020年度 3%削減 540	基準値 557kg ↓ 3%削減 540kg	・集中給湯器の温度設定を 通年で下げる ・瞬間湯沸かし器の温度 上限を決め表示する	大澤	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	540				
					計画使用量	65.2	48.2	42.0	29.7	23.1	16.9	225.0	24.1	35.3	55.0	57.2	72.1	71.3	540	0	0	0	0		0	0	540	
					実績使用量	59.8	52.8	29.6	62.9	25.3	13.5	244	18.8	27.5	37.5	34.8	54.6	46.8	464	0	0	0	0		0	0	0	464
1.5	灯油使用量の削減(L) 基準値:2016年度(通年) 7,714 2018年度から2020年度 3%削減 7,482	基準値 7,714L ↓ 3%削減 7,482L	・暖房機の最適使用	小松	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	7,482				
					計画使用量	155.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	155.2	669.3	677.1	646.1	2,033.8	2,505.5	795.0	7,482	0	0	0	0		0	0	7,482	
					実績使用量	434.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	434	513.6	449.1	1,400.0	1,542.3	885.0	720.0	5,944	0	0	0	0		0	0	0	5,944
2.1	一般廃棄物排出量の削減(kg) 基準値:2016年度(通年) 3,390 2018年度から2020年度 3%削減 3,288	基準値 3,390kg ↓ 3%削減 3,288kg	・廃棄物の分別と確認 ・リサイクル化出来るもの 検討と運用	朝比奈	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	3,288				
					計画使用量	274.0	274.0	274.0	274.0	274.0	274.0	1,644.0	274.0	274.0	274.0	274.0	274.0	274.0	3,288	0	0	0	0		0	0	3,288	
					実績使用量	230.0	140.0	190.0	310.0	150.0	140.0	1,160	260.0	220.0	160.0	190.0	170.0	180.0	2,340	0	0	0	0		0	0	0	2,340
2.2	産業廃棄物排出量の削減(t) 基準値:2016年度(通年) 68.8 2018年度から2020年度 3%削減 66.7	基準値 68.8t ↓ 3%削減 66.7t	・廃棄物の分別 ・リサイクル化出来るもの 検討と運用 ・按分での評価を検討	朝比奈	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	66.7				
					計画使用量	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	33.4	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	66.7	0	0	0	0		0	0	66.7	
					実績使用量	5.6	5.5	2.0	4.5	4.3	3.1	25	2.23	2.5	2.5	2.8	5.3	2.2	42.4	0	0	0	0		0	0	0	42.4
3	水使用量の削減(m³) 基準値:2016年度(通年) 2,136 2018年度から2020年度 3%削減 2,071	基準値 2,136 m³ ↓ 3%削減 2,071 m³	・節水についての標語掲示	小松 政木	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	2,071				
					計画使用量	345.2	345.2	345.2	345.2	345.2	345.2	1,035.5	345.2	345.2	345.2	345.2	345.2	2,071	0	0	0	0	0		0	0	2,071	
					実績使用量	135.0	166.0	166.0	247.0	247.0	247.0	548	223.0	154.0	154.0	165.0	165.0	1,090	0	0	0	0	0		0	0	0	1,090
4	化学物質の適正管理	適正管理	・MSDS及びSDSでの適切な管理	朝比奈	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	0				
					計画使用量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0
					実績使用量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0
5	グリーン購入の推進(丸子工場)	エコ商品品目数 データ取り	・1年間に購入した事務用品を リストアップし、エコ商品 対象か調査する	大澤	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	0				
					計画件数	1以下	1以下	1以下	1以下	1以下	0以下	5以下	1以下	1以下	1以下	1以下	1以下	0以下	10以下	0	0	0	0		0	0	0	10以下
					実績件数	0	1	0	0	2	0	3	1	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0		0	0	0	0
6	R社クレーム件数低減(件数)	基準値 16件 ↓ 10件以下	・工程内寸法チェックの強化 ※チェックシート作成 ・セルフチェック作業・セルフ チェックポイントの標準化	政木 金井 山崎 小林	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	10以下				
					計画件数	1以下	1以下	1以下	1以下	1以下	0以下	5以下	1以下	1以下	1以下	1以下	1以下	0以下	10以下	0	0	0	0		0	0	0	10以下
					実績件数	0	1	0	0	2	0	3	1	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0		0	0	0	0
NO.	評価・確認 月日	評価・確認者	評価・確認事項(定期・臨時)		コメント																							

6.環境経営目標の実績及び環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

運用期間:2020年4月~2021年3月

評価: 達成○ 未達×

No.	環境経営目標	運用期間目標	施策	実績	評価	取組	
						コメント	次年度の取組内容
1	二酸化炭素排出量の削減	3%削減 710,355kg-CO2 ↓ 689,043kg-CO2	・1.1~1.5の各項に記載	552,298 kg-CO2	○	目標に対し136,745kg-CO2 19.84%削減 目標達成。新型コロナウイルスの影響による受注減及び、それに伴う生産量減少や休業、等生産活動が停止したことが要因。	引き続き施策を徹底する。
1.1	電力使用量の削減	3%削減 1,363,084kwh ↓ 1,322,191kwh	・休憩時間、不要照明の消灯 ・エアコンの適正使用 ・PCを省エネモードに設定	1,066,710 kwh	○	目標に対し255,481kwh 19.32%削減 目標達成。受注減による生産量減少、全社休業での生産設備停止が数値に反映したと思われる。	CO2排出量の95%以上が電力のため、既存の取組はもとより、製造に関係している内容に限定した取組を検討する。今後は、売上按分での評価を実施する。
1.2	ガソリン使用量の削減	3%削減 2,955L ↓ 2,866L	・エコドライブを実践 ・定期点検の実施 ・エコ出張の推進	856 L	○	目標に対し、2,010L 70.13%削減 目標達成。選別出張、物品の納品や引取り、等県内外での移動が減少した。	取組は今後も継続。運行記録表を作成し走行距離と給油量の関係を確認する。
1.3	軽油使用量の削減	3%削減 403L ↓ 390L	・エコドライブを実践 ・定期点検の実施 ・エコ出張の推進	296 L	○	目標に対し、94L 24.10%削減 目標達成。上記参照。	上記同一。
1.4	プロパンガス使用量の削減	3%削減 557kg ↓ 540kg	・集中給湯器の温度設定を通年で下げる ・瞬間湯沸かし器の温度上限を決め表示する	464 kg	○	目標に対し、76kg 14.07%削減 目標達成。休業による稼働日減少が要因。	取組は継続。
1.5	灯油使用量の削減	3%削減 7,714L ↓ 7,482L	・暖房機の最適使用	5,944 L	○	目標に対し、1,538L 20.55%削減 目標達成。	2020年12月~2021年2月は厳冬のため使用量が増加。今後も取組は継続。
2.1	一般廃棄物排出量の削減	3%削減 3,390kg ↓ 3,288kg	・廃棄物の分別と確認 ・リサイクル化出来るもの検討と運用	2,340 kg	○	目標に対し、948kg 28.33%削減 目標達成。休業による稼働日減少が要因。	今後も取組は継続。
2.2	産業廃棄物排出量の削減	3%削減 68.8t ↓ 66.7t	・廃棄物の分別 ・リサイクル化出来るもの検討と運用 ・按分での評価を検討	42.4 t	○	目標に対し、24.3t 36.43%削減 目標達成 新型コロナウイルスの影響による受注減に伴う全体的な生産量減少が要因。	今後も取組は継続。工程不良削減を推進する。売上按分での評価を実施する。
3	水使用量の削減	3%削減 2,136㎡ ↓ 2,071㎡	・節水についての標語掲示、啓発を実施	1,090 ㎡	○	目標に対し、981㎡ 47.36%削減 目標達成。休業による稼働日減少が要因。	今後は維持活動とする。
4	化学物質の適正管理	適正管理	・MSDS及びSDSでの適切な管理	適正管理	○	最新版を確認済。	今後も維持管理する。
5	グリーン購入の推進(丸子工場)	エコ商品品目数データ取り	・1年間に購入した事務用品をリストアップし、エコ商品対象が調査する	エコ商品品目数データ取り	○	エコ商品表示を確認する習慣が出来ている。	今後は維持活動とする。
6	R社クレーム件数低減(件数)	16件 ↓ 10件以下	・過去に発生したトラブルの再発防止 ※出荷検査不合格時の是正処置の確立	4件	○	流出防止から発生防止の活動が主になり、客先品質が向上している。	品質向上が環境にも配慮できることを踏まえ、取組みを継続していく。

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

適用される主な環境関連法規等は次のとおりである。

適用環境関連法規等	適用される事項(施設、物質、事業活動等)	状況
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(金属クズ、廃プラ、廃油等)	○
騒音・振動規制法	コンプレッサー	○
水質汚濁防止法・浄化槽	排水、浄化槽	○
消防法(危険物)	少量危険物	○
フロン排出抑制法	エアコンの点検	○

環境関連法規等の遵守状況を確認し評価した結果、環境関連法規等への違反・訴訟はありませんでした。なお、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

全体評価と指示内容

使用量、排出量での評価結果は目標に対して達成できていたが、2020年度に関しては、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、大幅な受注の減少により、計画的な生産活動ができなかった。目標達成が施策による効果よりも、生産数の減少による効果が大きかったため、売上での按分集計を行い、基準年度からの推移を確認した。その結果、従来の施策だけでは実質的な改善効果が出ていなかった。

今後の施策については、現在全社で取り組んでいる経営方針活動とリンクさせ、在庫削減、不良削減、生産効率向上(生産体制見直し、設備稼働率向上-休日停止)など生産活動の中で検討してください。

昨今、企業へのカーボンニュートラルやESGの要求が高まる中で、従来の施策に加え、効果がある施策の検討・取り組みを進め今何に取り組んでいる、今何をやろうとしている、等も全社に向けて告知、啓蒙活動を行っていきましょう。